

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～G組
 教科担当者：（A組：杉田）（B組：杉田）（C組：杉田）（D組：石附）（E組：杉田）（F組：石附）
 （G組：杉田）

使用教科書：（東京書籍「精選論理国語」）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	□話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考えを深める。 □哲学的な思考の方法を理解する。	・河野哲也「環境問題と孤立した個人」 ・野矢茂樹「ロボットは意志を持つか」 ・新国語問題総演習 ・入試漢字2800 ・大学入試国語対策知識問題演習	○	○		【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」について、文章の内容や論の展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら論旨を把握している。 ・「読むこと」について、文章の内容や解釈をもとに人間や社会などについて新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己のあり方について哲学の観点から自分自身のあり方を問い直そうとしている。 ・学習課題に沿って、自分なりに答えを導きだそうとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	
	□話題と主張の関係に着目し、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 □論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	・宇野常寛「おじいさんのランプ」 ・丸山圭三郎「言語と記号」 ・新国語問題総演習 ・入試漢字2800 ・大学入試国語対策知識問題演習	○	○	○	【知識・技能】 ・対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言語についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。 ・学習課題に沿って、自分なりに答えを導きだそうとしている。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1	

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～G組

教科担当者：（A組：西村）（B組：西村）（C組：小林）（D組：西村）（EFG組：小林）

使用教科書：（桐原書店「近代小説四選一山月記・こころ・舞姫・変身」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
○文学的文章読解 教材：「こころ」 ○問題演習 教材：「現代文 思考の論理スイッチ実践編3」1～6	・文学的文章における場面や人物を把握し、作品が持つ主題を読み取る力を養うとともに、文学的表現に親しむ。 ・問題演習を通して文章の構成を学び、実戦的な読解方法を学習する。	○	○		【知識・技能】 ・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において、文学的作品の独特な表現を味わい、主題を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、自分なりに答えを導きだそうとしている。	○	○	○	17
		定期考査					○	○	
○文学的文章読解 教材：「こころ」 ○問題演習 教材：「現代文 思考の論理スイッチ実践編3」6～12	・文学的文章における場面や人物を把握し、作品が持つ主題を読み取る力を養うとともに、文学的表現に親しむ。 ・問題演習を通して文章の構成を学び、実戦的な読解方法を学習する。	○	○		【知識・技能】 ・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において、文学的作品の独特な表現を味わい、主題を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、自分なりに答えを導きだそうとしている。	○	○	○	21
		定期考査					○	○	

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：4 単位
 対象学年組：第3学年 A組～G組
 教科担当者：（A組：石附）（B組：小林）（C組：石附）（D組：小林）（EFG組：石附）
 使用教科書：（数研出版「高等学校 古典探究」）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語・	書	読						
1 学 期	古文 歴史物語／大鏡「南院の競射」 評論／無名草子「清少納言と紫式部」 随筆／枕草子「宮に初めて参りたるころ」 ○問題演習 よむナビ古典 古文編1～5	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○			【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	漢文 逸話「知音」「梁上君子」 ○問題演習 よむナビ古典 漢文編1～4	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○			【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1	
	古文 日記文学／蜻蛉日記「うつろひたる菊」 日記文学／紫式部日記「土御門邸の秋」「同僚女房評」 ○問題演習 よむナビ古典 古文編7～10	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○			【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	20

1 学 期	漢文 小説「売鬼」 ○問題演習 よむナビ古典 漢文編5～8	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○	○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査					○	○		1
2 学 期	古文 物語／源氏物語「紫の上の苦悩」 「紫の上の死」 ○問題演習 よむナビ古典 古文編11～14 大学入学共通テスト演習 古典	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	漢文 史伝／廉頗・藺相如「壁を趙に帰さしむ」 ○問題演習 よむナビ古典 漢文編9～11	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	古文 歴史物語／大鏡「道真と時平」 評論／無名草紙「文」 近代秀歌「本歌取り」 無名抄「俊成自讃歌のこと」 ○問題演習 大学入学共通テスト演習 古典	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実践的な読解の方法を学習する。	○	○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査					○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（A組：小山） （B組：小山） （C組：小山） （D組：小山）

使用教科書：（詳説世界史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、構想、考察したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ○ヨーロッパ世界の形成	①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ②ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ③ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 【思考・判断・表現】イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
○イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ○ヨーロッパ世界の変容と展開	①トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。 ②十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
1 学期 定期考査			○	○		1
○東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ○アジアの諸帝国の繁栄	①モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ②オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。 ③清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。	【知識・技能】清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
○近世ヨーロッパ世界の動向	①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ②主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ③イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。	【知識・技能】主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1

2 学 期	○産業革命と環大西洋革命	①イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。	【知識・技能】フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思考・判断・表現】「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	34	
	○イギリスの優位と欧米国民国家の形成	①ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。	【知識・技能】19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 【思考・判断・表現】鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	34	
3 学 期	○帝国主義とアジアの民族運動	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 【思考・判断・表現】列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22	
	○二つの世界大戦と新しい国際秩序の形成	①歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。	【知識・技能】第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	21	
							合計	
								175

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

地歴科 科目 世界史演習

教科: 地理歴史

科目: 世界史演習

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組~ D 組

教科担当者: A組~D組: 石井

使用教科書: (詳説世界史 探究)

教科 地歴科

の目標:

【知識及び技能】 基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得

【思考力、判断力、表現力等】 「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成

【学びに向かう力、人間性等】 主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決使用とする態度の育成

科目 世界史演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的な条件や世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えると共に、諸資料から世界にの歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界のつながりなどに着目して、概念などに活用して多面的・多角的に考察して歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、国の歴史を対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配時数
A 単元 【知識及び技能】 世界各地の古代文明を比較し、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地の古代文明の相違点を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の古代文明の関連性について分析しようとしている。	・指導事項 第1章文明の成立と古代文明の特質 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	2
B 単元 【知識及び技能】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係を追究しようとしている。	・指導事項 第2章中央ユーラシアと東アジア世界 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
1 学期 定期考査						
C 単元 【知識及び技能】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を分析、探究しようとしている。	・指導事項 第3章南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	5
D 単元 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の国家形成について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の国家形成について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第4章西アジアと地中海周辺の国家形成 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を分析しよとしている。	・指導事項 第5章イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について分析、追究しようとしている。	・指導事項 第6章イスラム教の伝播と西アジアの動向 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	3
	定期考査						
	C 単元 【知識及び技能】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について分析、追究しようとしている。	・指導事項 第9章大交易・大交流の時代 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	3
	D 単元 【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸帝国の繁栄について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第10章アジアの諸帝国の繁栄 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1	
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環大西洋革命について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第12章産業革命と環大西洋革命 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	3
	B 単元 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸地域の動揺を追究しようとしている。	・指導事項 第14章アジア諸地域の動揺 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義とアジアの民族運動を追究しようとしている。	・指導事項 第15章帝国主義とアジアの民族運動 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用とされている。	○	○	○	5

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史探究

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究 単位数： 5 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者： A組～G組： 田中つかさ

使用教科書： （ 詳説 日本史 日本史探究 山川出版社 ）

教科 地歴科 の目標：

- 【知識及び技能】 日本史の諸事象について総合的にとらえて理解する
- 【思考力、判断力、表現力等】 日本史の諸事象の意味や意義を多角的に考察し、効果的に説明できる力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 日本史の諸事象を主体的に探究しようとする態度を養う

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解するとともに、資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。	日本史の諸事象の意味や意義を多角的・多面的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	日本史の諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	占領下の日本 【知識及び技能】 日本の主権回復の意義を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「冷戦の開始と講和」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 占領政策の転換や日本の主権回復について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	13
	高度成長の時代・激動する世界と日本 【知識及び技能】 安定した保守政権と経済成長、現代の日本について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「55年体制」「高度経済成長」「冷戦の終結と日本社会の変容」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 自由民主党の誕生と経済・外交、現代の日本について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15
	定期考査						1
	日本文化のあけぼの・古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 原始・古代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「旧石器時代」「縄文時代」「弥生時代」「古墳時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 原始・古代の日本社会について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	16
	古墳とヤマト政権・律令国家の形成 【知識及び技能】 飛鳥時代・奈良時代の日本について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「飛鳥時代」「奈良時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 飛鳥時代・奈良時代の政治・社会・文化について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	16
定期考査				○	○	○	1

	<p>貴族政治の展開 【知識及び技能】 藤原北家の権力掌握と律令体制の変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「摂関政治」「国風文化」「地方政治と武士」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 摂関政治と律令体制の変容、武士の出現について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	15
	<p>院政と武士の躍進 【知識及び技能】 古代から中世の国家・社会の変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「院政と平氏政権」「鎌倉時代」「鎌倉文化」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 院政・平氏政権・鎌倉幕府について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	18
2	定期考査						1
学	<p>武家社会の成長 【知識及び技能】 武家社会の成長と室町時代の社会・文化を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「室町時代」「室町文化」「戦国時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 室町幕府の成立・成長、室町文化、戦国大名について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	16
	<p>近世の幕開け・幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 織豊政権と江戸幕府の支配体制を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「織豊政権」「幕藩体制の成立」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 織豊政権の特色と江戸幕府の支配体制について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	<p>幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕政の改革と化政文化を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「幕政の改革」「幕府の衰退と近代への道」「化政文化」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 幕政の改革・幕府の衰退、化政文化について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	15
3	<p>近世から近代へ 【知識及び技能】 幕末から明治維新の政治と貿易・産業を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「開国と幕末の動乱」「幕府の滅亡と新政府の発足」「貿易・産業」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 幕末・明治維新期の政治と貿易・産業について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	15
学	定期考査			○	○		1
	<p>近代国家の展開・恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 日清・日露戦争から軍部の台頭と第二次世界大戦を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする</p>	<p>・指導事項 「日清・日露戦争と国際関係」「第一次世界大戦と日本」「軍部の台頭と第二次世界大戦」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表</p>	<p>【知識・技能】 日清・日露戦争から軍部の台頭と第二次世界大戦について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる</p>	○	○	○	15

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：増山

使用教科書：政治・経済(数研出版)

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 民主政治とその基本原理と展開 【知識及び技能】 ・民主政治とその基本原理、また成立の歴史的背景について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・民主政治の基本原理とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治とその基本原理について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・政治の目的を明らかにし、民主政治の歴史的な展開やその背景の学習を通して民主主義の実現に必要な要素を考察する。	【知識・技能】 ・民主政治とその基本原理、また成立の歴史的背景について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の基本原理とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治とその基本原理について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	16
	B 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 ・日本国憲法の内容と憲法が保障する人権の種類と運用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・日本国憲法の条文から、日本国憲法の理念と、憲法が保障する人権の具体的内容を理解し、判例などを通して解釈や具体的運用について考察する。	【知識・技能】 ・日本国憲法の内容と憲法が保障する人権の種類と運用について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	C 日本の政治機構 【知識及び技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国会、内閣、裁判所の役割と具体的な運用について、憲法の条文と現実の運用を比較しながら、その実態や課題について考察する。 ・地方自治の意義と役割について考察する。	【知識・技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
	D 政治参加と民主政治の課題 【知識及び技能】 ・政党や選挙制度のしくみや役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・政党政治、選挙制度、世論形成といった民主政治の実態とその課題について考察する。	【知識・技能】 ・政党や選挙制度のしくみや役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

2 学 期	E 経済活動の意義と経済体制 【知識及び技能】 ・経済体制の発展とその歴史的背景及び課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・経済体制の発展とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済体制の発展とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・経済とは何かを理解し、経済体制の発展やその背景、課題について考察する。	【知識・技能】 ・経済体制の発展とその歴史的背景及び課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・経済体制の発展とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済体制の発展とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	18
	F 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 ・市場経済のしくみと実態、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・市場経済、経済成長、財政、金融のしくみを理解し、その意義や課題について考察する。	【知識・技能】 ・市場経済のしくみと実態、課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
	G 日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、公害、消費者問題、労働、社会保障について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、公害、消費者問題、労働、社会保障等の課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、校外、消費者問題、労働、社会保障の課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・戦後の日本経済、中小企業・農業、公害、消費者問題、労働、社会保障の実態や課題について考察する。	【知識・技能】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、校外、消費者問題、労働、社会保障について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、校外、消費者問題、労働、社会保障の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・戦後の日本経済、中小企業・農業、校外、消費者問題、労働、社会保障について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	H 国際政治の動向 【知識及び技能】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国際法の意義と発展について理解し、現在の国際社会の実態とその課題について考察する。	【知識・技能】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
	I 国際経済の動向 【知識及び技能】 ・国際経済のしくみとその課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際経済のしくみとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際経済のしくみとその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国際貿易の意義や国際収支のしくみを理解し、国際経済の実態やその課題について考察する。	【知識・技能】 ・国際経済のしくみとその課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際経済のしくみとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際経済のしくみとその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	J 国際社会の課題と日本の役割 【知識及び技能】 ・国際社会の課題と日本の役割について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際社会の課題と日本の役割について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際社会の課題と日本の役割について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・軍縮や地域紛争、経済協力などの国際社会の実態とその課題について理解し、日本の果たすべき役割について考察する。	【知識・技能】 ・国際社会の課題と日本の役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の課題と日本の役割について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会の課題と日本の役割について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	7

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学 I 演習

教科： 数学 科目： 数学 I 演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

教科担当者： 角本 大貴 村田 俊一

使用教科書：（「数学 I ・ A 基礎問題精講」旺文社）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し説教的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I 演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1学年で学習した高校数学の基本となる数学 I の内容（数と式、2次関数、図形と軽量、データの分析）について復習し理解を深める。基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。また、それらを活用する技能を身に付ける。	事象を数学的に表現し考察する力、着想を変えて取り組める姿勢を身に付ける。問題の趣旨を理解し、基本的な知識を応用してどの様な過程で問題解決に向けて取り組むかを考察させる。また、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、様々な入試問題について、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 展開・因数分解、平方根、絶対値、条件と命題、2次関数と最大最小の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>展開・因数分解、平方根、絶対値、条件と命題、2次関数および最大最小の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式の展開・因数分解、平方根、絶対値の入試レベルの問題が解ける。 条件と命題、2次関数と最大最小の入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	10
中間考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数と2次方程式・不等式、三角比の基本分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>2次関数と2次方程式・不等式、三角比の基本分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。特に図形への応用は他の分野の知識が必要になるので注意を促す。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とグラフの関係を理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な2次方程式・不等式を解け、応用ができる。 三角比の基本事項を正しく理解し、入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	12
期末考査			○	○		1

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角比の正弦定理・余弦定理および図形への応用の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>三角比について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角比の正弦定理・余弦定理を正しく理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な三角比の問題を解け、応用ができる。 ・三角比の図形への応用ができ、入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの分析の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>データの分析について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの分析に関する基本事項を理解し、問題に適切に対応できる。 ・データの分析の入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学 I 分野の様々な入試問題に触れさせ、解法のテクニックを吸収・活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、いかに素早く正確に解答への過程にたどり着ける考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答を求めるために粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>数学 I 分野様々な入試問題の解答方法について理解する。いかに素早く正確に解答にたどり着くか、その過程を理解した上で求められるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学 I 分野の入試問題に素早く正確に対応できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題に自ら取り組み、解決方法を考察し素早く正確に正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	14
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学A演習

教科： 数学 科目： 数学A演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 必修選択

教科担当者： 大内 豪 村田 俊一

使用教科書：（「数学Ⅰ・A 基礎問題精講」旺文社）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の楽しさを認識し説教的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1学年で学習した高校数学の基本となる数学Aの内容（図形の性質、順列・組合せ、確率、整数の性質）について復習し理解を深める。基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。また、それらを活用する技能を身に着ける。	事象を数学的に表現し考察する力、着想を変えて取り組める姿勢を身に着ける。問題の趣旨を理解し、基本的な知識を応用してどの様な過程で問題解決に向けて取り組むかを考察させる。また、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学の楽しさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、様々な入試問題について、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>図形の様々な公式について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の性質・の基本から入試レベルの問題までが解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 順列・組合せの基本分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>順列・組合せの基本分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 順列・組合せの基本事項を理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な応用問題も解け、応用ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	12
期末考査			○	○		1	

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率の基本的な考え方及びその応用の問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>確率について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的事項についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率の定義を正しく理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な確率の問題を解け、応用ができる。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整数の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>整数の性質について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的事項についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整数の性質に関する基本事項を理解し、問題に適切に対応できる。 整数の入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学Aの分野の様々な入試問題に触れさせ、解法のテクニックを吸収・活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、いかに素早く正確に解答への過程にたどり着ける考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 解答を求めるために粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>数学Aの分野の様々な入試問題の解答方法について理解する。いかに素早く正確に解答にたどり着るか、その過程を理解した上で求められるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学A分野の入試問題に素早く正確に対応できる。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題に自ら取り組み、解決方法を考察し素早く正確に正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	14
							70

高等学校 令和7年度 (3学年用)

教科 数学 科目 数学ⅡB演習

教科: 数学

科目: 数学ⅡB演習

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択必修

教科担当者: 石山勝一・柴宮一則

使用教科書: (数学Ⅱ・B+ベクトル 基礎問題精講 (旺文社))

教科 数学の目標

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2学年で習ったことを使って、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係性を認識し統合的・発展的に考察し、入試問題を解く技術や知識を身に付ける。、数学的な表現を用いて入試問題の解答を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し課題解決に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、入試問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の評価基準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の評価基準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	第1章 式と証明 【知識及び技能】 ・1・2学年で学習した式と証明に関する定理・公式を確認し、教材の基礎問題を解けるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	第1章 式と証明 1 3次式の展開 2 3次式の因数分解 3 パスカルの三角形 4 2項定理・多項定理 5 整式の割り算 6 分数式の計算 7 繁分数式の計算 8 式の値 9 比例式(I) 10 比例式(II) 11 恒等式 12 等式の証明 13 不等式の証明	第1章 式と証明 【知識・技能】 公式や定理を理解しそれらを利用することで整式・分数式の計算および等式・不等式の証明をすることができる。 【思考・判断・表現】 問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。	○	○	○	6
	第2章 複素数と方程式 【知識及び技能】 ・1・2学年で学習した複素数と方程式に関する定理・公式を確認し、教材の基礎問題を解けるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようすることができる。	第2章 複素数と方程式 14 2次方程式の解 15 複素数の計算(I) 16 複素数の計算(II) 17 解の判別(I) 18 解の判別(II) 19 iを含んだ方程式(I) 20 iを含んだ方程式(II) 21 解と係数の関係(I) 22 解と係数の関係(II) 23 虚数解 24 剰余の定理(I) 25 剰余の定理(II) 26 剰余の定理(III) 27 因数定理 28 虚数ω 29 共通解 30 高次方程式	第2章 複素数と方程式 【知識・技能】 公式や定理を理解しそれらを利用することで複素数の計算および高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。	○	○	○	8

1 学 期	<p>第3章 図形と式</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年で学習した図形と方程式に関する定理・公式を確認し、教材の基礎問題を解けるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの円の共有点について、2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの円の方程式から導かれる1次方程式について、それが表す直線がどのようなものか考察しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断することができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善することができる。 	<p>第3章 図形と式</p> <p>31 分点の座標</p> <p>32 直線の方程式</p> <p>33 2点間の距離</p> <p>34 点と直線の距離</p> <p>35 線対称</p> <p>36 平行条件・垂直条件</p> <p>37 定点を通る直線</p> <p>38 交点を通る直線</p> <p>39 円の方程式</p> <p>40 円と直線の位置関係</p> <p>41 円と接線</p> <p>42 2円の交点を通る円</p>	<p>第3章 図形と式</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで直線の方程式、円の方程式・軌跡に関する問題を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	6	
		<p>中間考査</p>		○	○		1	
		<p>43 軌跡(I)</p> <p>44 軌跡(II)</p> <p>45 軌跡(III)</p> <p>46 軌跡(IV)</p> <p>47 軌跡(V)</p> <p>48 一般の曲線の移動</p> <p>49 不等式の表す領域(I)</p> <p>50 不等式の表す領域(II)</p> <p>51 領域内の点に対する最大・最小</p>		○	○	○	5	
		<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年で学習した三角関数に関する定理・公式を確認し、教材の基礎問題を解けるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の値の符号について考察できる。また、値の増減についても考察し、それを適切に表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 ・三角比の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。 	<p>第4章 三角関数</p> <p>52 一般角</p> <p>53 弧度法</p> <p>54 三角関数の加法定理</p> <p>55 2倍角・半角の公式</p> <p>56 3倍角の公式</p> <p>57 和積・積和の公式</p> <p>58 直線の傾きとtangent</p> <p>59 三角関数の合成(I)</p> <p>60 三角関数の合成(II)</p> <p>61 三角関数の合成(III)</p> <p>62 三角関数のグラフ</p> <p>63 三角方程式</p>	<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで三角関数に関する問題を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ただ暗記するのではなく、三角関数の公式をすべて導くことができる。問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	6
		<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年で学習した指数関数・対数関数に関する定理・公式を確認し、教材の基礎問題を解けるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対数の値が存在することを、グラフによって考察することができる。 ・指数法則を利用して、対数の性質を証明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数と対数の関係に興味をもち、性質や計算において、その関係を見出そうとする。 	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>64 指数の計算</p> <p>65 指数関数のグラフ</p> <p>66 指数方程式(I)</p> <p>67 指数方程式(II)</p> <p>68 指数不等式</p> <p>69 対数の計算(I)</p> <p>70 対数の計算(II)</p> <p>71 対数関数のグラフ</p> <p>72 対数方程式(I)</p> <p>73 対数方程式(II)</p> <p>74 対数不等式</p> <p>75 対数の応用(I)</p> <p>76 対数の応用(II)</p> <p>77 指数・対数関数の最大・最小</p> <p>78 大小比較(I)</p> <p>79 大小比較(II)</p> <p>80 常用対数の値の評価</p>	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで指数・対数の計算および指数方程式・対数方程式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	8
		<p>第6章 微分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>81 極限(I)</p> <p>82 極限(II)</p> <p>83 導関数</p> <p>84 微分係数</p> <p>期末考査</p> <p>85 平均変化率と微分係数</p> <p>86 接線(I)</p> <p>87 接線(II)</p> <p>88 関数決定(I)</p> <p>89 3次関数のグラフ</p> <p>90 共通接線</p> <p>91 関数の決定(II)</p> <p>92 極限をもつための条件</p> <p>93 最大・最小</p> <p>94 最大値・最小値の図形への応用</p> <p>95 微分法の方程式への応用</p> <p>96 接線の本数</p> <p>97 微分法の不等式への応用(I)</p> <p>98 微分法の不等式への応用(II)</p>	<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで微分の計算および接線の方程式を求めることができる。増減表を導き3次関数のグラフをかくことができる。不定積分・定積分の計算をすることができ、関数によって囲まれる部分の面積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	3
				○	○		1	
				○	○	○	6	

2 学 期	<p>第6章 積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>99 不定積分(I)</p> <p>100 不定積分(II)</p> <p>101 定積分</p> <p>102 絶対値のついた関数の定積分</p> <p>103 定積分で表された関数(I)</p> <p>104 定積分で表された関数(II)</p> <p>105 面積(I)</p> <p>106 面積(II)</p> <p>107 面積(III)</p> <p>108 面積(IV)</p> <p>109 面積(V)</p> <p>110 面積(VI)</p>	<p>第6章 積分法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで微分の計算および接線の方程式を求めることができる。増減表を導き3次関数のグラフをかくことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	6
	<p>第7章 数列</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の定義、表記について理解し、用語や記号を正確に用いることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の一般項を表す式を、定義域が自然数であるnの関数と捉え、新しい概念である数列を、既習の関数と関連付けて考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>第7章 数列</p> <p>111 等差数列(I)</p> <p>112 等差数列(II)</p> <p>113 等差数列(III)</p> <p>114 等差数列(IV)</p> <p>115 等比数列(I)</p> <p>116 等比数列(II)</p> <p>117 等差中項・等比中項</p> <p>118 Σ記号を用いた和の計算(I)</p> <p>119 Σ記号を用いた和の計算(II)</p> <p>120 Σ記号を用いた和の計算(III)</p> <p>121 Σ記号を用いた和の計算(IV)</p> <p>122 階差数列</p> <p>123 2項間の漸化式(I)</p> <p>124 2項間の漸化式(II)</p> <p>125 2項間の漸化式(III)</p> <p>126 2項間の漸化式(IV)</p> <p>127 2項間の漸化式(V)</p> <p>128 和と一般項</p> <p>129 3項間の漸化式</p> <p>130 連立型漸化式</p> <p>131 群数列(I)</p> <p>132 群数列(II)</p> <p>中間審査</p> <p>133 格子点の個数</p> <p>134 漸化式の応用</p> <p>135 場合の数と漸化式</p> <p>136 確率と漸化式</p> <p>137 数学的帰納法(I)</p> <p>138 数学的帰納法(II)</p>	<p>第7章 数列</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで等差数列・等比数列の一般項を導くことができる。Σ記号を用いた和の計算をすることができる。漸化式から数列の一般項を導くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。</p>	○	○	○	10
	<p>133 格子点の個数</p> <p>134 漸化式の応用</p> <p>135 場合の数と漸化式</p> <p>136 確率と漸化式</p> <p>137 数学的帰納法(I)</p> <p>138 数学的帰納法(II)</p>	○	○		1		
<p>136 確率と漸化式</p> <p>137 数学的帰納法(I)</p> <p>138 数学的帰納法(II)</p>	○	○	○	4			
<p>第8章 ベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>第8章 ベクトル</p> <p>139 $ma+nb$</p> <p>140 分点の位置ベクトル</p> <p>141 3点が一直線上にある条件</p> <p>142 三角形の重心の位置ベクトル</p> <p>143 ベクトルの成分</p> <p>144 平行条件</p> <p>145 ベクトルの大きさ(I)</p> <p>146 ベクトルの大きさ(II)</p> <p>147 角の2等分ベクトルの扱い(I)</p> <p>148 角の2等分ベクトルの扱い(II)</p> <p>149 $IP_A+mPB+nPC=0$</p> <p>150 内積(I)</p> <p>151 内積(II)</p> <p>152 内積(III)</p> <p>153 内積(IV)</p> <p>154 正射影ベクトル</p> <p>155 ベクトル方程式(I)</p> <p>156 ベクトル方程式(II)</p> <p>157 軌跡(I)</p> <p>158 軌跡(II)</p> <p>159 ベクトルと図形</p> <p>160 不定積分(II)</p> <p>161 空間座標</p> <p>162 空間ベクトル</p> <p>163 三角形の面積</p> <p>164 直方体</p> <p>165 四面体(I)</p> <p>166 四面体(II)</p> <p>167 垂線の足のベクトル</p> <p>168 空間ベクトルにおける幾何の活用</p> <p>期末審査</p>	<p>第8章 ベクトル</p> <p>【知識・技能】</p> <p>公式や定理を理解しそれらを利用することで位置ベクトル・ベクトルの成分・内積に関する計算をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題を解くに当たっての留意点およびテーマを理解して解答を導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業で学習したことを基にして、入試問題、共通テストの問題にチャレンジしようとする。式と関連させて考察し、それらの共通点などを見出そうとする。</p>	○	○	○	13	
<p>期末審査</p>	○	○		1			

2 学 期	第9章 統計的な推測 【知識及び技能】 ・確率変数や確率分布の意味を理解している。 ・試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率変数の分散、標準偏差の意味を理解し、分布の特徴について判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	第9章 統計的な推測 169 確率変数と確率分布 170 確率変数の期待値 171 確率変数の返還後の期待値 172 確率変数の分散・標準偏差 173 確率変数の返還後の分散・標準偏差 174 2つの確率変数が独立であるときの積の期待値 175 2つの確率変数が独立であるときの分散 176 二項分布の期待値・分散・標準偏差 177 確率密度関数 178 正規分布 179 二項分布の正規近似 180 標本平均と正規分布	第9章 統計的な推測 【知識・技能】 ・確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。 ・一般の正規分布に従う確率変数を標準正規分布に従う確率変数に変換することができる。 ・標準正規分布に従う確率変数について、正規分布表を用いて確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。 ・正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6
	3 学 期	181 母平均の推定 182 美比率の推定 183 仮説検定 共通テスト問題演習		○	○	○	14
							105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

数学 科目

数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 5 単位

対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組

教科担当者： (EFG組：角本・石山)

使用教科書： (NEXT数学Ⅲ 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け
るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認
識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確
に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的
論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり
、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>・分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。</p> <p>・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>・事象を関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容</p> <p>(7) ⑦関数$y=(ax+b)/(cx+d)$を適切に変形して、グラフをかくことができる。</p> <p>・例題1, 練習3</p> <p>(4) ④方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、それを分数関数に適用して方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>・応用例題1, 練習5</p> <p>(ウ) ⑥無理関数の定義域や値域などについて理解し、簡単な分数関数のグラフをかくことができる。</p> <p>・例2, 練習6～7</p> <p>⑥逆関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的な関数の逆関数を求めることができる。</p> <p>・例3～4, 例題3, 練習12～13</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>⑦関数$y=(ax+b)/(cx+d)$を適切に変形して、グラフをかくことができる。</p> <p>・例題1, 練習3</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>④方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、それを分数関数に適用して方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑦方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。</p> <p>・応用例題1, 練習5</p>	○	○	○	36
中間考査			○	○		1
<p>1 学 期</p> <p>微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。</p> <p>導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</p>	<p>・指導内容</p> <p>積、商の導関数の公式の証明、適用。</p> <p>Nが整数(負の場合も含めて)Xのn乗の導関数の公式の証明と適用。</p> <p>合成関数の微分法の公式の導出と適用。第3の変数を用いる場合と、用いずに合成関数の記法で解く場合。</p> <p>逆関数の微分の公式の導出と適用。</p> <p>Xのp乗の導関数の公式の証明と適用。</p> <p>三角関数の導関数の導出。これまでの微分の公式と合わせた適用。</p> <p>対数関数の導関数の導出。対数関数を含む合成関数、積の微分。</p> <p>(2) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、微分法を問題解決に活用すること。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p> <p>(4) ④定義にしたがって微分係数を求めることができる。</p> <p>・例1, 練習1</p> <p>④関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。</p> <p>・p. 80, 例2, 練習2</p> <p>④多項式で表された関数の導関数を求めることができる</p> <p>・練習4</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>④積の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。</p> <p>・例4, 練習5</p> <p>④商の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。</p> <p>・例5, 練習7</p> <p>④定積分の置換積分法では、積分区間の変化に注意して計算できる。</p> <p>・例10, 練習20～21</p> <p>④三角関数で置換する置換積分法を用いて定積分を計算できる。</p> <p>・例7～8, 練習22～23</p> <p>④偶関数、奇関数の定義を理解している。</p> <p>・練習24</p> <p>④定積分の部分積分法を理解し、それを利用して定積分を計算できる。</p> <p>・例12, 練習27～29</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>④$\int(a^2-x^2)$の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。</p> <p>・p. 175, 例題7</p> <p>④偶関数、奇関数の定積分の性質について、定積分を面積と捉えて説明できる。</p> <p>・練習25</p> <p>④偶関数、奇関数の性質を用いて定積分の計算が効率的にできる。</p> <p>・例11, 練習26</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>④簡単には定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。</p> <p>・小項目A, C</p> <p>④置換積分について、いくつかの方法で置換することを試し、よりよい方法を探ろうとする。</p> <p>・例題7【?】, 例題8【?】</p> <p>④$\int \sin x$の定積分に部分積分法を用いると同じ定積分が再び出てくることに興味をもち、その計算方法を考察しようとする。</p> <p>・p. 179 研究</p> <p>④$\int \sin nx$の定積分に部分積分法を用いると漸化式が導かれることに興味をもち、その計算方法や計算結果について考察しようとする。</p> <p>・p. 180 研究</p>	○	○	○	23
期末考査			○	○		1

	<p>・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。</p> <p>・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。</p> <p>・関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。</p> <p>様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</p> <p>の関係など事象の考察に活用できるようにする。を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解し、それらを多面的に考察できるようにする。</p>	<p>・指導内容</p> <p>(7) ◎関数の増減を調べて、最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>・例題3, 練習12</p> <p>(4) ◎第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。</p> <p>・例6～7, 練習13</p> <p>◎増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。</p> <p>・例題4～5, 練習15～17</p> <p>◎第2次導関数と極値の関係を理解している。</p> <p>・例8, 練習18</p> <p>導関数に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○上端がxである定積分を、xで微分することができる。</p> <p>・練習30</p> <p>◎数列の和の極限を定積分を用いて求めることができる。</p> <p>・例題9, 練習36</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎上端、下端にxを含む定積分を、xの関数と捉えて問題を解決することができる。</p> <p>・応用例題3～4, 練習30～32</p> <p>◎定積分は定数であることを理解し、その理由を説明できる。また、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。</p> <p>・応用例題5【?】, 練習33</p> <p>○区分求積法について理解し、長方形の作り方を変えた場合などについても考察、説明ができる。</p> <p>・練習34～35</p> <p>○関数の大小と定積分の大小の関係 について、等号が成り立つ条件を正しく理解し、説明できる。</p> <p>・p.186～187, 例題10【?】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○曲線で囲まれた部分の面積を、細長い長方形の面積の和の極限と捉えることに興味をもち、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとする。</p> <p>・p.184～185</p>	○	○	○	31
2学期	<p>中間考査</p> <p>・様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。</p> <p>・事象を定積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容</p> <p>(9) ◎三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>・例3～4, 練習3～4</p> <p>◎合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解し、正しく適用できる。</p> <p>・p.159, 例題1, 練習5</p> <p>◎$f(ax+b)$の不定積分について、置換積分法を用いて公式を導き、それを適用して不定積分の計算ができる。</p> <p>・例5, 練習6～7</p> <p>◎積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、不定積分を求めることができる。</p> <p>・p.163, 例題3, 練習10</p> <p>◎部分積分法を用いて、対数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>・応用例題1, 練習11</p> <p>関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>(4) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎定積分を用いて図形の面積を求めることができる。</p> <p>・例13, 例題11, 練習39～41</p> <p>◎曲線$x=g(y)$で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <p>・例14, 練習43～44</p> <p>◎$F(x, y)=0$で表される曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>・応用例題7, 練習45【思考・判断・表現】</p> <p>◎定積分がどの部分の面積を表すか読み取り、面積を2通りに表示することができる。</p> <p>・練習42</p> <p>◎媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。</p> <p>・応用例題8, 練習46</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○図形の面積を求めるとき、グラフの位置関係などを、図をかくて把握しようとする。</p> <p>・小項目A～C</p> <p>○面積を求める際、対称性に着目して、計算を効率的に行おうとする。</p> <p>・応用例題7, 練習45</p> <p>○異なる方法で表示された1つの曲線で囲まれた図形の面積について、表示方法によって別の方法で求め、その過程や結果について考察しようとする。</p> <p>・応用例題7, 練習46</p>	○	○	○	36
	<p>大学入試問題演習</p> <p>微分係数や導関数の意味について理解し、多項式で表された関数の導関数が求められるようにする。また、関数のグラフの接線が求められるようにする。</p> <p>導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかいたり、さらにグラフを様々な事象の考察に活用したりできるようにする。</p> <p>不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。</p> <p>・微分や積分の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・事象を微分や積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容</p> <p>◎x軸、y軸周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>平均変化率の定義を理解し、それを求めることができる。</p> <p>微分係数の図形的な意味を理解し、接線の傾きを求めることができる。</p> <p>導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。</p> <p>定積分の定義を理解し、定積分を計算することができる。</p> <p>(4) 微分や積分の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎定積分で体積が求められる仕組みを、区分求積法で面積が求められることと関連付けて理解している。</p> <p>・p.195～196</p> <p>◎x軸、y軸周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>・例15, 例題12, 練習49～50【思考・判断・表現】</p> <p>◎立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。</p> <p>・応用例題9【?】, 練習48</p> <p>◎立体を切断する方向を変えて体積を求め、その過程や結果について考察できる。</p> <p>・練習47</p> <p>◎$F(x, y)=0$で表される曲線や媒介変数表示された曲線で囲まれる図形を回転させてできる回転体の体積を求めることができる。</p> <p>・応用例題10, 練習51～52</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○定積分を用いると、既習の円錐の体積や球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとする。</p> <p>・p.196, 例15</p>	○	○	○	22
	<p>期末考査</p>			○	○	○	1

3 学期	<p>F 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(ウ)導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかいたり、さらにグラフを様々な事象の考察に活用したりできるようにする。</p> <p>(エ)不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎数直線上で運動する点の座標や通過した道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例16, 練習54 <p>◎座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例題13, 練習55 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○点の座標や動いた道のりについて、$v-t$グラフで囲まれた部分の面積と関連付けて考察できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> p.204, 練習53 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○点の運動の考察に定積分を活用できることに興味をもち、様々な点の運動について調べようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小項目A~B 	○	○	○	23
	学年末考査			○	○		合計 175

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 E 組～ G 組

教科担当者： (EFG組：角本・大内)

使用教科書： (NEXT数学C 数研出版)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し説教的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルや複素数平面、式と曲線について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	事象を数学的に表現し考察する力、着想を変えて取り組める姿勢を身に着ける。問題の趣旨を理解し、基本的な知識を応用してどのような過程で問題解決に向けて取り組むかを考察させる。また、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルについて、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルについて、基本的な知識を応用して問題解決に向けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>空間ベクトルの基本的事項について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルの基本的な問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数平面について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数平面について、基本的な知識を応用して問題解決に向けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>複素数平面の基本的事項について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数平面の基本的な問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式と曲線について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式と曲線について、基本的な知識を応用して問題解決に向けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>式と曲線の基本的事項について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式と曲線の基本的な問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学C分野の様々な入試問題に触れさせ、解法のテクニックを吸収・活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、いかに素早く正確に解答への過程にたどり着ける考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答を求めるために粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>数学C分野の様々な入試問題の解答方法について理解する。いかに素早く正確に解答にたどり着くか、その過程を理解した上で求められるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学C分野の入試問題に素早く正確に対応できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題に自ら取り組み、解決方法を考察し素早く正確に正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 ・自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学C分野の様々な入試問題に触れさせ、解法のテクニックを吸収・活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、いかに素早く正確に解答への過程にたどり着ける考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答を求めるために粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>数学C分野の様々な入試問題の解答方法について理解する。いかに素早く正確に解答にたどり着くか、その過程を理解した上で求められるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学C分野の入試問題に素早く正確に対応できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題に自ら取り組み、解決方法を考察し素早く正確に正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 ・自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	14
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学理系演習

教科： 数学 科目： 数学理系演習 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組（自由選択）
 教科担当者： 村田 俊一
 使用教科書：（ N E X T 数学Ⅲ 数研出版 ）
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け
るようになる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認
識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確
に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的
論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、
評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学理系演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数 学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表 現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数 学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しよ うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創 造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>・ 分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・ 数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。</p> <p>・ 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>・ 事象を関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。</p> <p>・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・ 指導内容 (ア) ◎関数$y=(ax+b)/(cx+d)$を適切に変形して、グラフをかくことができる。 (イ) ◎方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、それを分数関数に適用して方程式、不等式を解くことができる。 (ウ) ◎無理関数の定義域や値域などについて理解し、簡単な分数関数のグラフをかくことができる。</p> <p>◎逆関数の定義や、定義域、値域について理解し、具体的な関数の逆関数を求めることができる。</p> <p>・ 教材 ・ スタディサプリ ・ ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】 ◎関数$y=(ax+b)/(cx+d)$を適切に変形して、グラフをかくことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し、それを分数関数に適用して方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ◎方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。</p>	○	○	○	4
中間考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。</p> <p>導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>についてその性質や関係を数学的に表現できるようにし、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</p>	<p>・ 指導内容 積、商の導関数の公式の証明、適用。 Nが整数(負の場合も含めて)Xのn乗の導関数の公式の証明と適用。 合成関数の微分法の公式の導出と適用。第3の変数を用いる場合と、用いずに合成関数の記法で解く場合。 逆関数の微分の公式の導出と適用。 Xのp乗の導関数の公式の証明と適用。 三角関数の導関数の導出。これまでの微分の公式と合わせた適用。 対数関数の導関数の導出。対数関数を含む合成関数、積の微分。 (イ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、微分法を問題解決に活用すること。</p> <p>・ 教材 ・ スタディサプリ</p> <p>(イ) ◎定義にしたがって微分係数を求めることができる。</p> <p>◎関数が微分可能であることと連続であることの関係について理解し、関数が微分可能でないことを示すことができる。</p> <p>◎多項式で表された関数の導関数を求めることができる</p>	<p>【知識・技能】 ◎積の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ◎商の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ◎定積分の置換積分法では、積分区間の変化に注意して計算できる。 ◎三角関数で置換する置換積分法を用いて定積分を計算できる。 ◎偶関数、奇関数の定義を理解している。 ◎定積分の部分積分法を理解し、それを利用して定積分を計算できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎$\sqrt{(a^2-x^2)}$の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。 ◎偶関数、奇関数の定積分の性質について、定積分を面積と捉えて説明できる。 ◎偶関数、奇関数の性質を用いて定積分の計算が効率的にできる。</p> <p>・ 例11, 練習26</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ◎簡単には定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。</p> <p>・ 小項目A, C ◎置換積分法について、いくつかの方法で置換することを試し、よりよい方法を探ろうとする。</p> <p>・ 例題7【?】, 例題8【?】 ◎$\text{exsin}x$の定積分に部分積分法を用いると同じ定積分が再び出てくることに興味をもち、その計算方法を考察しようとする。 ・ p.179 研究 ◎$\text{sin}x$の定積分に部分積分法を用いると漸化式が導かれることに興味をもち、その計算方法や計算結果について考察しようとする。 ・ p.180 研究</p>	○	○	○	12
期末考査			○	○		1

2 学 期	<p>・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。</p> <p>・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。</p> <p>・関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。</p> <p>様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</p> <p>の関係など事象の考察に活用できるようにする。を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解し、それらを多面的に考察できるようにする。</p>	<p>・指導内容</p> <p>(7) ◎関数の増減を調べて、最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>(4) ◎第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。</p> <p>◎増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。</p> <p>◎第2次導関数と極値の関係を理解している。</p> <p>導関数に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・スタディサプリ</p> <p>・ロイロノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎上端がxである定積分を、xで微分することができる。</p> <p>◎数列の和の極限を定積分を用いて求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎上端、下端にxを含む定積分を、xの関数と捉えて問題を解決することができる。</p> <p>◎定積分は定数であることを理解し、その理由を説明できる。また、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。</p> <p>◎区分求積法について理解し、長方形の作り方を変えた場合などについても考察、説明ができる。</p> <p>◎関数の大小と定積分の大小の関係について、等号が成り立つ条件を正しく理解し、説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◎曲線で囲まれた部分の面積を、細長い長方形の面積の和の極限と捉えることに興味をもち、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとする。</p>	○	○	○	12
	<p>中間調査</p>			○	○		1
	<p>・様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。</p> <p>・事象を定積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容</p> <p>(7) ◎三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>◎合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解し、正しく適用することができる。</p> <p>◎$f(ax+b)$の不定積分について、置換積分法を用いて公式を導き、それを適用して不定積分の計算ができる。</p> <p>◎積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、不定積分を求めることができる。</p> <p>◎部分積分法を用いて、対数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>(4) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎定積分を用いて図形の面積を求めることができる。</p> <p>◎曲線$x=g(y)$で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <p>◎$F(x, y)=0$で表される曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎定積分がどの部分の面積を表すか読み取り、面積を2通りに表示することができる。</p> <p>◎媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◎図形の面積を求めるとき、グラフの位置関係などを、図をかいて把握しようとする。</p> <p>・小項目A～C</p> <p>◎面積を求める際、対称性に着目して、計算を効率的に行おうとする。</p> <p>◎異なる方法で表示された1つの曲線で囲まれた図形の面積について、表示方法によって別の方法で求め、その過程や結果について考察しようとする。</p>	○	○	○	14
	<p>大学入試問題演習</p> <p>微分係数や導関数の意味について理解し、多項式で表された関数の導関数が求められるようにする。また、関数のグラフの接線が求められるようにする。</p> <p>導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかくたり、さらにグラフを様々な事象の考察に活用したりできるようにする。</p> <p>不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。</p> <p>・微分や積分の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・事象を微分や積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容</p> <p>◎x軸、y軸周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>平均変化率の定義を理解し、それを求めることができる。</p> <p>微分係数の図形的な意味を理解し、接線の傾きを求めることができる。</p> <p>導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。</p> <p>定積分の定義を理解し、定積分を計算することができる。</p> <p>(4) 微分や積分の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <p>・スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎定積分で体積が求められる仕組みを、区分求積法で面積が求められることと関連付けて理解している。</p> <p>◎x軸、y軸周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。</p> <p>◎立体を切断する方向を変えて体積を求め、その過程や結果について考察できる。</p> <p>◎$F(x, y)=0$で表される曲線や媒介変数表示された曲線で囲まれる図形を回転させてできる回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◎定積分を用いると、既習の円錐の体積や球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとする。</p>	○	○	○	12
<p>期末調査</p>			○	○		1	

<p>3 学 期</p>	<p>F 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。</p>	<p>・指導内容 (ウ)導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかいたり、さらにグラフを様々な事象の考察に活用したりできるようにする。 (エ)不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ◎数直線上で運動する点の座標や通過した道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <p>◎座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○点の座標や動いた道のりについて、$v-t$グラフで囲まれた部分の面積と関連付けて考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○点の運動の考察に定積分を活用できることに興味をもち、様々な点の運動について調べようとする。</p>	○	○	○	12
<p>学年末考査</p>				○	○		<p>合計</p> <p>70</p>

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学文理演習

教科： 数学 科目： 数学文理演習 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 C 組～ F 組 の選択者
 教科担当者： 柴宮一則
 使用教科書： 合格の計算 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・C
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学文理演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年で学習した内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。特に、大学入試に対応できるよう計算のスピードと正確性を高める。	応用問題についてその意図する内容を的確に把握し、解決に至る過程を数学的に考察し、解答を導く力を養う。この過程をいかにスムーズに行えるか、いかに表現すればよいかを考察する。常に、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 素因数分解、最大公約数・最小公倍数、互除法と不定方程式、平方根、展開・因数分解の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>素因数分解、最大公約数・最小公倍数、互除法と不定方程式、平方根、展開・因数分解の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 素因数分解関連や不定方程式の入試レベルの問題が解ける。 平方根、展開・因数分解の入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式の除法と分数式、2次関数と最大最小、2次方程式・不等式、複素数、高次方程式やいろいろな方程式の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>・指導内容</p> <p>整式の除法と分数式、2次関数と最大・最小、2次方程式・不等式、複素数、高次方程式やいろいろな方程式の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式の除法と分数式の入試レベルの問題が解ける。 2次関数、2次方程式・不等式、複素数の入試レベルの問題が解ける。 高次方程式を含むいろいろな方程式の入試レベルの問題が解ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 	○	○	○	14
	期末考査			○	○		1

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理

教科： 理科 科目： 物理
 対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組
 教科担当者： (EF組 櫻井 一雄)

単位数： 5 単位

使用教科書： (数研出版「物理」(物理706))

教科 理科

の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事象・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事象・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 物理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的な知識・技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。	様々な物理現象に対する自然科学の視点を育み、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を養う。

1 学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
		第1編 力と運動 ・平面内の運動についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・剛体についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・運動量の保存についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・円運動と万有引力についての理解を深め適切に扱えるようにする。	1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動 2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつり合い 2. 剛体にはたらく力の合力と重心 第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力	【知識・技能】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○
	定期考査			○	○		1
	第2編 熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化 第3編 波 ・波の伝わり方 ・音の伝わり方 ・光	1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 1章 波の伝わり方 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折	【知識・技能】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：5 単位
 対象学年組：第3学年 E組～G組
 教科担当者：（G組：吉田 雪絵）
 使用教科書：（実教出版「化学 academia」）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象に関して、理論的の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解すること。状態変化を伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解すること。 2節 固体の構造 結晶格子の概念および結晶の構造を理解すること。 3節 気体の性質 ・気体の体積と圧力や温度との関係を理解すること。ボイルシャルルの法則を理解すること。 ・理想気体の状態方程式を理解すること。混合気体について、気体の状態方程式が成り立つことや、分圧の法則を理解すること。 ・蒸気圧と混合気体の圧力の関係を理解すること。 4節 溶液 溶解のしくみ、固体の溶解度について計算できること。気体の溶解度について、計算できること。	1章 物質の状態と平衡 1節 物質の構造と融点・沸点 状態間の平衡 2節 結晶 アモルファス 3節 熱運動と気体分子 気体の状態方程式 4節 溶解 溶解度と溶解平衡	【知識及び技能】 ・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。 ・結晶格子の概念および結晶の構造について理解している。 ・結晶格子の概念について、身近な物質を例にしたがり、結晶構造のモデルを用いたりして、特徴を観察する技能を身に付けている。 ・気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・物質の状態変化は、構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 ・状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察することができる。 ・固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。 ・状態変化の現象について、粒子の運動と関連づけて探究しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。 ・状態変化の現象について、粒子の運動と関連づけて探究しようとする。 ・気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 ・気体が示す様々な性質に着目し、探究しようとする。	○	○	○	31
定期考査			○	○		1
1学期 4節 溶液 ・沸点上昇、凝固点降下について、現象を理解し計算できるようにする。 ・コロイド溶液について理解すること 2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー ・反応熱やエンタルピー・エントロピーの概念を理解し、ヘスの法則へ応用できるようにすること。また、結合エネルギーの計算をできるようにすること。 2節 化学反応と電気エネルギー ・ダニエル電池や鉛蓄電池をはじめとした数多くの電池の原理を理解し、電気分解の原理を定量的な視点で理解する。 3節 反応の速さとしくみ ・反応速度の表し方を理解し、反応速度に与える影響について答えられるようにすること。活性化エネルギーを理解し、触媒との関係を答えられるようにすること。 4節 化学平衡 ・化学平衡について理解し、平衡移動の原理を応用できること。電離平衡について理解し、電離度やpHを計算できるようにする。 ・化学平衡について理解し、平衡移動の原理を応用できること。電離平衡について理解し、電離度やpHを計算できるようにする。	1章 物質の状態と平衡 4節 希薄溶液の性質 コロイド溶液の性質 2章 物質の変化と平衡 1節 エネルギーの変換と保存 化学反応と熱エネルギー ヘスの法則 化学反応と光エネルギー 2節 電池 電気分解 3節 反応の速さ 反応速度を変える条件 反応のしくみ 4節 可逆反応と化学平衡 化学平衡の移動 電解質水溶液の平衡	【知識及び技能】 ・溶液の性質の法則性、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身に付けている。 ・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事理解している。 ・ヘスの法則について理解している。 ・化学発光や生物発光、光化学反応について理解している。 ・反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因などについて理解している。 ・化学反応とエネルギー、反応速度に関する観察、実験などを行い、その操作や記録などの技能が習得でき、結果から結論を導くことができる。 ・可逆反応や化学平衡の移動、水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 ・化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒の影響などを受けられることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。 ・化学平衡になる典型的な反応について、実証的・論理的に分析し、科学的に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 ・気体が示す様々な性質に着目し、探究しようとする。 ・化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意図的に探究・考察しようとする。 ・化学平衡などの複雑なしくみがあることを、意図的に探究・考察しようとする。	○	○	○	35
定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

教科: 理科 科目: 生物 単位数: 5 単位
 対象学年組: 第 3 学年 AB 組 EFG 組
 教科担当者: (AB組 赤間 大志) (EFG組 赤間 大志)

使用教科書: (東京書籍「生物」(生基702))

教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	1 生物の進化 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化を理解する。また、それらの特徴を見出して表現する。 ・遺伝子の変化と進化のしくみについて理解するとともに、それらの特徴を踏まえて知識を活用できる。 ・生物の系統と進化を関連付けて考え、それらの過程を理解する。	・生命の起源 ・細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化のしくみ ・生物の系統と分類	【知識・技能】 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子レベルでの進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・生物の系統について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化について、観察や実験などの活動を通して、生命の起源と細胞の進化に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命の進化について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	2 生命現象と物質 ・細胞と分子について理解し、その構造や役割について特徴を見出すことができる。 ・代謝について理解し、その特徴を見出すとともに、酵素の役割についても理解する。	・細胞の構造 ・タンパク質の構造 ・酵素 ・呼吸 ・光合成	【知識・技能】 ・細胞と分子について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・代謝について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命現象と物質について、観察や実験などの活動を通して、生命現象と物質に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命現象と物質について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	30
定期考査			○	○		1	
2 学期	3 遺伝情報の発現と発生 ・遺伝情報の発現と発生について、理解するとともに、それらの特徴を見出して表現する。 ・発生と遺伝子発現の関係性を理解するとともに、真核生物や原核生物との特徴と関連付けて説明できる。 ・遺伝子を扱う技術について理解し、その役割や責任について考える。	・DNA ・転写と翻訳 ・原核生物の遺伝子発現 ・真核生物の遺伝子発現 ・動物の発生 ・遺伝子発現の調節 ・遺伝子を扱う技術	【知識・技能】 ・遺伝情報とその発現について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子を扱う技術について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝情報の発現と発生について、観察や実験などの活動を通して、遺伝情報の発現と発生に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報の発現と発生について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	4 生物の環境応答 ・動物の反応を理解し、それらの特徴を見出して表現する。 ・動物の行動と神経系の役割を関連付けて理解し、そのつながりを説明する。 ・植物の成長や反応に関わるしくみについて理解し、それらの関わり合いから植物の反応の目的を考える。	・刺激の受容と反応 ・神経系 ・効果器 ・動物の行動 ・植物の行動 ・植物ホルモン	【知識・技能】 ・動物の反応について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・神経系の役割と動物の行動について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・植物の環境応答についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝情報の発現と発生について、観察や実験などの活動を通して、生物の環境応答に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の環境応答について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	30
定期考査			○	○	○	1	

3 学 期	5 生態と環境 ・ 個体群と生物群集のことを理解し、生態系における生物間の関係を説明する。 ・ 生態系の物質生産と物質循環をそれらの特徴とともに理解する。 ・ 生態系と人間生活のつながりを理解し、互いに影響を考える。	・ 個体群と生物群集 ・ 相互作用 ・ 食物網 ・ 物質生産 ・ 物質循環 ・ 生物多様性 ・ 人間生活と生態系	【知識・技能】 ・ 生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・ 生態系の物質生産と物質循環について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・ 生態系と人間生活についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 生態系内の生物の関係性について、観察や実験などの活動を通して、生体と環境に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 成体と環境について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	30
	入試問題演習	・ 共通テスト演習 ・ 大学入試問題演習	・ 大学の入試問題へ取り組む。	○	○		21
							合計
							175

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術科 科目 絵画制作

教科：芸術科 科目：絵画制作

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～G組

教科担当者：（ABCDEF組：阿部）

使用教科書：（なし）

教科 芸術科 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 絵画制作 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 彫	テ	映						
<p>A オリジナルのポートフォリオをつくろう（絵画・デザイン）</p> <p>オリジナルのをポートフォリオ企画し、デザインやコンテンツを考案し作成する。最後には、各自プレゼンテーションを行う</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの特徴などを基に、冊子全体のイメージを大切に、デザインしていくこと理解する。 ・各ページのエディトリアルデザインのスキルを身につけ、効果的に作品を配置できるようになる。 ・ポートフォリオという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にポートフォリオという形式から自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に他者の作品集の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したいデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。 	<p>・指導事項</p> <p>○作成するもの Adobe Express等を活用し、以下のものを制作する</p> <p>① ポートフォリオのアイデア出しプリント類（3種類） ② 表紙・裏表紙のデザイン ③ プロフィールの作成</p> <p>④ 中ページの作成 A 今までに作成した作品 B テーマを決め新たに作品（デザイン）を作成する C その他活動実績や自身のアピールポイント ⑤ プレゼンテーション（1人10分程度）</p> <p>・教材 鉛筆、スケッチブック、Dスケール、練りゴム</p> <p>・一人1台端末の活用 等 ○Adobe ExpressとTeamsを活用し、冊子のデザインを行う。</p> <p>○出来上がったポートフォリオをTeamsにアップロードする</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの特徴などを基に、冊子全体のイメージを大切に、デザインしていくこと理解している。 ・各ページのエディトリアルデザインのスキルを身につけ、効果的に作品を配置できる。 ・ポートフォリオという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練ることができる。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にポートフォリオという形式から自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に他者の作品集の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したいデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 	○	○	○	○	26

2・3 学期	<p>A 卒業制作（絵画・デザイン・映像・鑑賞）</p> <p>自身が表現形式を設定し、主体的に制作する。テーマの作成、描画材の選択も一から行い、制作する。最後には、各自プレゼンテーションを行う</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った造形表現の基礎を理解し、その表現方法を身に付け、自身の作品に活かす。 ・さまざまな画材の基本的な技法を身に付け、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい作品やデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。 	<p>指導事項</p> <p>○自身が表現形式を設定し、主体的に制作する。テーマの作成、描画材の選択も一から行い、制作する</p> <p>○自分のテーマや制作のアイデアを考える。高校生の自分が表現したいものは何であるのかを追求する</p> <p>○テーマを表現するために、表現形態、素材、支持体を考え、制作する</p> <p>○制作した作品を展示、鑑賞する</p> <p>・教材 各自選択した表現に合わせた画材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>○制作した作品の画像を撮影し、その変容や作品の変化を読みとる。</p> <p>○作品の鑑賞を行い、意見交換をしながら表現の視野を広げる</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った造形表現の基礎を理解し、その表現方法を身に付け、自身の作品に活かすことができる。 ・さまざまな画材の基本的な技法を身に付け、創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい作品やデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 			44
									合計	70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅢ 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～G組

教科担当者：（A組：菊地）（B組：河西）（C組：山本）（D組：北原）（E組：北原）（F組：山本）（G組：菊地）

使用教科書：（第一学習社 CREATIVE English Communication Ⅲ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く事、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書きてに配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
Lesson 1 ・分詞構文の否定形 ・日本・世界の高速鉄道の発達についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べるができる。	<題材内容とねらい> ・日本・世界の高速鉄道の発達についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 <文型・文法事項> ・分詞構文の否定形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、自分が好きな交通機関とその理由について説明しようとしている。									
1 学 期		○	○	○	○		○	○	○	10

1 学 期	<p>Lesson 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語 ・世界の水問題を解決しようる日本の井戸掘り技術についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・聞き手に配慮して、水問題についてのプレゼンテーションをしようとしている。 ・クラウドファンディングサイトを読み、本文と読み比べ、どの組織を支援したいか自分の考えを述べることができる。 	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の水問題を解決しようる日本の井戸掘り技術についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・クラウドファンディングサイトを読み、本文と読み比べ、どの組織を支援したいか自分の考えを述べることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に配慮して、水問題についてのプレゼンテーションをしようとしている。 					<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。</p>				10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○	○		○	○		1	

1 学 期	<p>Lesson 3</p> <p>・進行形の受け身</p> <p>・アスリートが発する社会的なメッセージについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</p> <p>・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。</p> <p>・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べるができる。</p>	<p><題材内容とねらい></p> <p>・アスリートが発する社会的なメッセージについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</p> <p>・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べるができる。</p> <p><文型・文法事項></p> <p>・進行形の受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。</p> <p><場面・状況など></p> <p>・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。</p>					<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。</p>			10
-------------	---	---	--	--	--	--	---	--	--	----

<p>Lesson 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話における音の変化 ・赤ちゃんの言語習得についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・外国語を学習する目的について複数のパラグラフで書こうとしている。 ・実験説明のスク립トを読み、本文と読み比べ、ある説を証明するのに適した実験を選んで具体的に説明できる。 	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの言語習得についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・実験説明のスク립トを読み、本文と読み比べ、ある説を証明するのに適した実験を選んで具体的に説明できる。 <五領域の知識・技能> ・会話における音の変化について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・外国語を学習する目的について複数のパラグラフで書こうとしている。 					<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くとしている。</p>			10
<p>定期考査</p>	<p>授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。</p>								1

2 学 期	<p>Lesson 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス英語のスペリング ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス英語のスペリングについて理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。 	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス英語のスペリングについて理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。 				<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。</p>	10
-------------	---	--	--	--	--	---	----

<p>Lesson 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダッシュの用法 ・人類と病気の戦いの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・生活様式を環境に合わせることにについて複数のパラグラフで説明しようとしている。 ・人物の伝記を読み、本文と読み比べることで理解を深め、その人物の説明を書くことができる。 	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類と病気の戦いの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・人物の伝記を読み、本文と読み比べることで理解を深め、その人物の説明を書くことができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダッシュの用法について理解を深めることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式を環境に合わせることにについて複数のパラグラフで説明しようとしている。 				<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。</p>		<p>10</p>	
<p>定期考査</p>	<p>授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>		<p>○</p>	<p>○</p>	<p>1</p>

<p>Lesson 7・コロンとセミコロンの用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・自分でレシピを考え、それがどのようにに体によいかを書こうとしている。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。 	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロンとセミコロンの用法について理解を深めることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でレシピを考え、それがどのようにに体によいかを書こうとしている。 					<p>【知識及び技能】</p> <p><聞くこと></p> <p>リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p><読むこと></p> <p>語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。</p> <p><話すこと></p> <p>リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。</p> <p>発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。</p> <p><書くこと></p> <p>語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><聞くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。</p> <p><読むこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。</p> <p><話すこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。</p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p><書くこと></p> <p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><聞くこと></p> <p>話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。</p> <p><読むこと></p> <p>書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。</p> <p><話すこと></p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。</p> <p>聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。</p> <p><書くこと></p> <p>読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。</p>			10
--	---	--	--	--	--	--	--	--	----

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅲ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者： (AB組：北原・菊地・(CD組：池田・山本・) (EF組：菊地・山本・渡部 (G組：菊地・渡部

使用教科書： (Vision Quest English Logic&ExpressionⅢ, Vintage 3rd Edition, Vintage準拠問題集Canvas, Avia)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目 論理・表現Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学受験レベルの基本的な文法・語法を習得し、長文読解や英作文等に活かせるようにする。	今までの経験や学習活動を踏まえ、身近な問題や社会で起きている問題について自分の意見を書いたり話したりして相手に伝えられる。	自分に必要な学習に自ら取り組み、授業中も周りの生徒や教員と活発な意見交換や質問を行い、理解を深めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」 書					
・分詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第7章 分詞 Writing課題	○	○		○		○	○	○	13
・関係詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第8章 関係詞 Writing課題	○	○		○		○	○	○	12
定期考査							○	○		1
・接続詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第9章 接続詞 プレゼンテーション課題	○	○	○			○	○	○	13
・比較 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第12章 比較 プレゼンテーション課題	○	○	○			○	○	○	12
定期考査							○	○		1

1
学
期

